

▶ 総合型選抜のポイント!

1 選抜方式を選びましょう。

学部・学科により出願資格や選抜方法が異なります。
3種類ある総合型選抜の中から複数出願して合格可能性を高めることもできます。
AO入試と、専門学科・総合学科出身者入試または課外活動優秀者入試の併願が可能です。

[入学試験要項等]は本学入試情報サイトからダウンロードしてください



○ 併願できる組み合わせ

AO入試 + 専門学科・総合学科出身者入試
または課外活動優秀者入試

✕ 併願できない組み合わせ

専門学科・総合学科出身者入試 + 課外活動優秀者入試

2 過去問の対策

本学ホームページで過去2ヵ年分の入試問題を公開中です。
学力を問う問題が出題される場合は、高校での学習をしっかりとっておきましょう。
※昨年度から実施内容を変更している学部・学科があります。

過去問題は
こちらから ▶



※合格者インタビューや対策動画も掲載予定です。

オープンキャンパスでは、一部学部のプログラムで、総合型選抜(AO入試)の対策講座を実施する予定です。
(オープンキャンパスの日程はP.70参照)

総合型選抜 (AO入試)

入学検定料 P09

▶ 募集学部・日程

学部	第1次選考 併願			第2次選考 専願		
	出願期間	試験日等	第2次選考 出願可否発表日	出願期間	試験日等	合否発表日
法学部	9/1(金) 9/6(水)	9/16(土) 寝屋川キャンパス	9/27(水)	9/27(水) 10/3(火)	10/14(土) 寝屋川キャンパス	11/1(水)
国際学部		書類審査				
経済学部						
経営学部						
現代社会学部						
理工学部		9/16(土) 寝屋川キャンパス ※生命科学科は書類審査			10/14(土) 枚方キャンパス	
看護学部		書類審査				
農学部		9/16(土) 枚方キャンパス				
薬学部	9/27(水)~10/3(火)	10/14(土) 枚方キャンパス	11/1(水)			

入学手続期間

UCARO入学手続期間 11/1(水)~11/13(月)

入学手続時納入金振込期間 2/5(月)~2/28(水)

▶ 各学部共通出願資格

※出願資格には、各学部共通出願資格に加えて、各学部の出願資格があります。各学部の出願資格はP.45以降を参照してください。

つぎの各項に該当する者

- 【薬学部を除く】本学を第一志望とし、第2次選考で合格すれば必ず入学する者
 - 第1次選考における他大学入試との併願は可
 - 第2次選考出願において、他大学との併願は原則不可(ただし、本学「専門学科・総合学科出身者入試」「課外活動優秀者入試」は併願可)

【薬学部】本学を第一志望とし、合格すれば必ず入学する者

2. つぎの各項のいずれかに該当する者

- 高等学校、中等教育学校を2023年3月に卒業した者および2024年3月卒業見込みの者
- 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月に卒業した者および2024年3月卒業見込みの者
- 在外教育施設(文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した者)、
韓国高等学校または朝鮮高級学校を2023年3月に修了した者および2024年3月修了見込みの者
- 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを
2023年3月に修了した者および2024年3月修了見込みの者として該当し、志望学部・学科に関連する専門教育を行う学科・コースに所属していると本学が認めた者
- 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、18歳に達する者。

総合型選抜（AO入試）

法学部

▶ 趣旨・目的

本入試では、法学部で学ぶために必要な能力を備えた人材を選考します。その能力とは、第一に「社会問題に対する鋭敏な関心や問題意識を持つことができる」、第二に「入学後に学ぶ法学や政治学関連の文章を正しく読み取り、自らの意見を論理的に思考・整理して文章化し、口頭で表現できる力があること」を示します。また、大学で学んだこと、経験したことなどを、将来社会で積極的に生かしたいという意欲や明確な将来像を有しているかを評価します。

▶ 出願資格 ※各学部共通出願資格(P.44参照)に加えて、次の学部の出願資格各項に該当する者

本学の教育理念および法学部の3つのポリシーを十分に理解し、本学法学部で学びたい強い意欲と情熱がある者

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
	口頭試問	1.プレゼンテーション(テーマは自由。特に打ち込んだものについて自己PR)〈10分以内〉 ※以下のような文化的活動を高く評価します。 ①芸術(美術・音楽・演劇・写真など)、②文芸や情報(小説や詩歌の創作・新聞・放送など)、③地域貢献・ボランティア活動、 ④特殊な技芸(囲碁・将棋・外国語会話・弁論など)、⑤科学的研究(歴史や現状についての調査・研究など) 2.プレゼンテーションを踏まえた質疑応答(基礎学力の確認を含む)。〈5分程度〉
第2次	小論文	与えられたテーマおよびキーワードに基づく小論文(800字以内)の作成 資料持ち込み不可。ただし、テーマによっては、当日資料を配付することもあります。
	口頭試問	本学法学部入学者としての適性・能力等を評価します。(基礎学力の確認を含む)

国際学部

▶ 趣旨・目的

国際学部では、グローバル化・ボーダーレス化が進む世界における様々な課題について解決策を見出し、主体的に行動できる人材の養成を目指します。そのためには、世界の国や地域の歴史・地理・社会・文化等の基礎知識を基に、豊かな教養と広い視野を身につけ、多様な価値観を客観的に理解して判断・発信できるグローバルリテラシーの習得が重要です。本入試では、世界や日本に関する関心や興味、調査力、分析力、表現力、積極性などを多面的・総合的に評価します。

▶ 出願資格 ※各学部共通出願資格(P.44参照)に加えて、次の学部の出願資格各項に該当する者

- 1.本学の教育理念および国際学部の3つのポリシーを十分に理解し、本学国際学部で学びたい強い意欲と情熱がある者
- 2.外国語および日本・外国文化に強い興味・関心がある者

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
第2次	プレゼンテーション	あなた自身の身近な興味・関心事がどのように「世界」とつながっているか、あるいはそれをどのように「世界」とつなげたいかについて発表する。(発表に使用する言語は、英語、中国語、スペイン語、インドネシア語、マレー語、日本語のいずれかひとつとします。)
	質疑応答	上記のプレゼンテーションを踏まえた質疑応答

経済学部

▶ 趣旨・目的

経済学部では、経済社会に関する探究心と自分の考えを適切に表現するための論理的な思考力を持ち、人と議論を交わし、他人の意見を尊重し、価値観や文化の多様性を受け入れることができる人を求めています。本入試では、書類審査およびプレゼンテーションを通じて、思考力、表現力、積極性などについて、多面的・総合的に評価します。

▶ 出願資格 ※各学部共通出願資格(P.44参照)に加えて、次の学部の出願資格各項に該当する者

- 1.本学の教育理念および経済学部の3つのポリシーを十分に理解し、本学経済学部で学びたい強い意欲と情熱がある者
- 2.経済や社会のニュースに興味・関心がある者

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
第2次	プレゼンテーション	1.次の①②について発表(10分) ①自己PR(課外活動、資格取得、ボランティア活動、習い事など、頑張ってきた事や得意な事) ②あなたが興味を持っている経済問題について 2.質疑応答

経営学部

▶ 趣旨・目的

本入試では、本学の教育理念、経営学部の3つのポリシーを理解し、かつ本学経営学部で学びたい強い意欲と情熱を持つ人材を求めます。
また、経営学部が求める知識・技能・意欲などを備え、入学後は学修・課外活動に主体的に取り組む姿勢・態度について、多面的・総合的に評価します。

▶ 出願資格 ※各学部共通出願資格(P.44参照)に加えて、次の学部の出願資格各項に該当する者

- 1.本学の教育理念および経営学部の3つのポリシーを十分に理解し、本学経営学部で学びたい強い意欲と情熱がある者
- 2.出身学校における調査書の「全体の学習成績の状況」が3.0以上の者

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
第2次	プレゼンテーション	次の①～③のいずれか1つを選択して自分の経験談を発表 ①自分が得意とすること ②みんなで力を合わせてやりとげたこと ③地域社会に役立つ取り組み

現代社会学部

▶ 趣旨・目的

現代社会学部は、様々な社会現象に関心を持ち、フィールドワークや学外での活動に積極的に参加する意欲があり、異なる考えや価値観を受け入れられる学生を求めます。
入学後は、能動的学修を通じて社会的諸課題の解決に取り組む人材を養成します。本入試では、書類審査および個人ワークとグループワークにより、様々な情報を組み合わせて自らの考えを表現する力や、提案力、対話力、協働力を総合的に評価します。

▶ 出願資格 ※各学部共通出願資格(P.44参照)に加えて、次の学部の出願資格各項に該当する者

本学の教育理念および現代社会学部の3つのポリシーを十分に理解し、本学現代社会学部で学びたい強い意欲と情熱がある者

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
第2次	個人ワーク	1.課題提示(10分) <テーマ> 現在および未来の社会が抱える課題を取り上げる。 2.アクションプランの作成(30分) ①課題に対して大学生が取り組めること ②具体的なアクションプラン ③期待される成果 3.プレゼンテーション・質疑応答(30分)
	グループワークと振り返り	1.アクションプランの作成(30分) 各自が作成したアクションプランを持ち寄り、対話を通じてグループとしてのアクションプランを作成 2.振り返り(10分) ワークシートを用いた自身の振る舞いやグループワークへの取り組みの振り返り。

総合型選抜（AO入試）

理工学部

▶ **出願資格** ※各学部共通出願資格(P.44参照)に加えて、次の学部の出願資格各項に該当する者

1. 本学の教育理念および理工学部各学科の3つのポリシーを十分に理解し、本学理工学部の志望する学科で将来に役立つ技術・知識を学びたい強い意欲と情熱がある者
2. 出身学校における調査書の「学習成績の状況(注)」が志望する学科の指定する成績基準以上である者

(注)

学 科	成 績 等
生 命 科 学 科	「全体の学習成績の状況」が3.0以上または「物理基礎」「物理」「化学基礎」「化学」「生物基礎」「生物」のいずれかの科目の評定平均が3.5以上である者
住環境デザイン学科	「全体の学習成績の状況」が3.0以上かつ「理科」「国語」「芸術(美術)」のいずれか1つ以上の教科の学習成績の状況が3.7以上の者
建築学科・都市環境工学科 機械工学科・電気電子工学科	「全体の学習成績の状況」が3.0以上の者

生命科学科

▶ 趣旨・目的

生命の真理への興味と探求心のある人材、生命科学に関する高度な知識と技術を修得することで人の健康および自然環境との共生に貢献したい人材を求めます。本入試では、生物や化学の基礎知識を身につけているか、読解力と表現力を有しているか、問いに対する思考・判断力や自主的・自発的に取り組む態度などを評価します。また、医療や環境、化粧品や食品などの生命科学に関する分野で、協同して研究に従事できる積極性と意欲のある人材を望みます。

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
	事前課題	生命科学に関するテーマ(自分が興味があるものでよい)について、教科書やインターネットを使って調べたことをまとめたもの(A4、図表を含めて5枚以内)
第2次	プレゼンテーション	事前課題のプレゼンテーション
	口頭試問	プレゼンテーションに係る質疑応答を含む

住環境デザイン学科

▶ 趣旨・目的

本学科を志望する動機や将来の進路について明確な展望を持っており、本学科で学ぶためのデザインの基礎力を身につけている人材を求めます。「書類審査」により専門技術者を目指すために必要な知識・理解を、「小論文」により本学科への入学意欲・関心と自分の考えを伝える表現能力を、また実技[描画]により知識・理解、思考・判断、技能・表現を評価します。

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
	小論文	テーマ:試験当日、住環境デザインに関係する文章を読み、自身の知識・体験から見解を記述する。(600字以内)
	実技	描画(定規の使用を認めない)
第2次	口頭試問	第1次選考を踏まえた基礎学力の確認を含む

建築学科

▶ 趣旨・目的

建築設計や建築生産などにかかわる技術、そしてその基盤となる知識・知恵を学ぶ強い意欲と大きな希望を持ち、より良い社会の実現に向けて活躍したい人材を求めます。建築分野の専門技術者を目指していくために必要となる基礎的な知識・技能、建築・都市計画分野に関する課題解決策を導くための思考力・判断力・表現力を評価します。また、専門分野に対する関心・意欲・態度や、主体性・多様性・協働性を評価します。

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
	小論文	テーマ:建築を学ぶにあたっての考えを論ずる。(600字以内)
	実技	描画と内容解説(定規の使用を認めない)
第2次	口頭試問	第1次選考を踏まえた基礎学力の確認を含む

都市環境工学科

▶ 趣旨・目的

都市環境工学科では、複雑・高機能化した都市環境を建設・維持管理・リニューアルするハード面と環境に配慮した都市計画を立案するソフト面の両面から捉えた技術者教育を行い、実践的な技術を身につけた即戦力として活躍できる人材の育成を目指します。
このため、都市建設や環境保全に関わる分野に関心を持ち、技術を通じて社会に貢献したいと考えて努力する意欲とそのための素養があるかをプレゼンテーションとそれに関する質疑および口頭試問により評価します。

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
	プレゼンテーションおよび質疑応答	[テーマ] 持続可能な社会を実現するために、都市環境工学(土木工学)が果たす役割 [内容] 例えば、自然との共生、構造物の設計と維持管理、人口減少社会の都市計画、環境保全のための政策立案や技術開発など、持続可能な社会を実現するために、都市環境工学(土木工学)分野において、あなたが重要と思う問題の一つを上げ、その理由と技術者が果たす役割に関する考えを説明する。(10分程度の発表と、質疑応答) パソコンの使用および資料の持ち込み可
第2次	口頭試問	第1次選考を踏まえた基礎学力の確認を含む

機械工学科

▶ 趣旨・目的

機械工学科では、人類・社会が直面する課題解決に寄与する機械の研究開発や、ものづくりの基礎となる機械工学の専門知識を修得し、問題を発見し解決できる総合的な能力を身につけた実践的機械技術者の養成を目指します。このため、世の中の機械の設計や開発、ものづくりの分野に関心を持ち、知識と技能を駆使して人類と社会に貢献したいと考えて主体的に取り組める素養があるか否かについて、レポートと質疑によって評価します。

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
	プレゼンテーション	高校での「総合的な学習(探究)の時間」で取り組んだ課題について、 ・具体的な取り組みの内容とその成果、自分の役割を説明する(10分程度) ・プレゼンテーションの内容に関する質疑応答(10分程度) パソコンの使用および資料の持ち込み可
第2次	口頭試問	第1次選考を踏まえた基礎学力の確認を含む

電気電子工学科

▶ 趣旨・目的

社会を支える電気・情報・電子・通信工学の幅広い知識や技術について、電気工学・情報工学を中心に修得し、製品やシステム開発および設計施工などの現場において課題を発見して解決できる実践的な電気系・情報系技術者を養成します。このため、電気・情報・電子・通信工学に関わる分野に関心を持ち、電気機器等のものづくりや、プログラミングに主体的に取り組める素養があるか否かについて、レポートや口頭試問によって評価します。

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1.志望理由書 2.調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
	プレゼンテーション	高校での「総合的な学習(探究)の時間」で取り組んだ課題について ・具体的な取り組みの内容とその成果、自分の役割を説明する(10分程度) ・プレゼンテーションの内容に関する質疑応答(10分程度) パソコンの使用および作品・資料等の持ち込み可
第2次	口頭試問	第1次選考を踏まえた基礎学力の確認を含む

総合型選抜（AO入試）

薬学部

▶ 趣旨・目的

本入試では、高等学校等で学ぶ知識に限らず、日常生活や社会活動などを通じて身につく人間力、実践力および統合力を重視して選考します。特に薬学部では、将来薬の専門家として他職種と連携するため、「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」が必要になります。そこで、思考力・判断力の能力審査に加え、化学実験ならびにグループ討議の実地審査を行います。与えられた課題に対し、解決に向けて取り組む力と姿勢を総合的に評価します。

▶ 出願資格 ※各学部共通出願資格(P.44参照)に加えて、次の学部の出願資格各項に該当する者

1. 本学の教育理念および薬学部の3つのポリシーを十分に理解し、本学薬学部で学びたい強い意欲と情熱がある者
2. 「化学基礎」「化学」を履修している者

▶ 選抜方法

書類審査	調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
実技	化学実験
グループ討議	実験結果に基づくグループ討議
□頭試問	基礎学力の確認など

看護学部

▶ 趣旨・目的

看護学部は能動的・協働的な学修ができる学生、即ち課題解決に向けた継続的な探求を行う能力と生命を尊重できる人間性を備え、地域社会と看護の発展に貢献したいという志を持つ学生を求めます。このような学生を選考するために「知識・理解」「思考・判断」「関心・意欲・態度」「技能・表現」を問う入試を行います。選考された学生にはアクティブラーニングを導入した講義・演習を提供し、卒業後において多職種と連携をとり、高い専門性と倫理観のもと自己研鑽を重ね活躍することを期待します。

▶ 出願資格 ※各学部共通出願資格(P.44参照)に加えて、次の学部の出願資格各項に該当する者

1. 本学の教育理念および看護学部の3つのポリシーを十分に理解し、本学看護学部で学びたい強い意欲と情熱がある者
2. 出身学校における調査書の「全体の学習成績の状況」が3.0以上の者

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1. 志望理由書 2. 調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
	協働作業	提示する課題について、グループで協働し作業する
第2次	グループ討議	医療、看護に関するテーマ
	小論文	医療、看護に関するテーマ(600字以内)

農学部

▶ 趣旨・目的

農学部では、地球規模の「食」と「農」の持続可能性は生活に直結する重要課題であると考えています。これらの課題に取り組む意欲と資質を持つ入学生を広く求めます。2015年に国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)」を題材とした入試を行い、知識、技能、思考力、判断力、表現力、主体性、協調性を総合的に評価します。

▶ 出願資格 ※各学部共通出願資格(P.44参照)に加えて、次の学部の出願資格各項に該当する者

1. 本学の教育理念および農学部各学科の3つのポリシーを十分に理解し、本学農学部の志望する学科で将来に役立つ技術・知識を学びたい強い意欲と情熱がある者
2. 出身学校における調査書の「全体の学習成績の状況」が3.0以上の者

▶ 選抜方法

第1次	書類審査	1. 志望理由書 2. 調査書(またはこれに代わるもの)「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。
	グループワーク	SDGsに関するテーマ
第2次	論述問題	400字以内で作成
	□頭試問	基礎学力の確認を含む

2023年度 総合型選抜入試結果

総合型選抜AO入試

学部・学科		第1次選考			第2次選考		
		志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)
法学部	法律学科	15	15	15	13	13	13
国際学部	国際学科	28	28	28	23	23	22
経済学部	経済学科	23	23	23	13	13	12
経営学部	経営学科	82	81	71	54	54	41
理工学部	生命科学科	0	—	—	—	—	—
	住環境デザイン学科	8	8	8	8	8	7
	建築学科	4	4	1	1	1	1
	都市環境工学科	0	—	—	—	—	—
	機械工学科	0	—	—	—	—	—
	電気電子工学科	1	1	1	1	1	1
	学部計	13	13	10	10	10	9
薬学部	薬学科	12	11	11	11	11	10
看護学部	看護学科	25	25	11	10	10	3
農学部	農業生産学科	7	6	6	5	5	5
	応用生物科学科	3	3	3	3	3	3
	食品栄養学科	7	7	7	7	7	7
	食農ビジネス学科	11	9	8	7	7	7
	学部計	28	25	24	22	22	22
合計		226	221	193	156	156	132

※2024年度は、総合型選抜(AO入試)に変更
 ※2023年度は、現代社会学部は募集していません。

専門学科・総合学科出身者入試

学部・学科		志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)
法学部	法律学科	4	4	4
国際学部	国際学科	12	12	12
経済学部	経済学科	21	21	21
経営学部	経営学科	61	60	42
現代社会学部	現代社会学科	13	13	12
理工学部	生命科学科	4	4	4
	住環境デザイン学科	16	16	13
	建築学科	18	17	16
	都市環境工学科	10	10	7
	機械工学科	13	13	13
	電気電子工学科	14	14	11
	学部計	75	74	64
農学部	農業生産学科	10	10	9
	応用生物科学科	5	5	5
	食品栄養学科	6	6	6
	食農ビジネス学科	7	7	7
	学部計	28	28	27
合計		214	212	182

※2023年度は、薬学部、看護学部は募集していません。

課外活動優秀者入試

学部・学科		志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)
法学部	法律学科	8	8	8
国際学部	国際学科	1	1	1
経済学部	経済学科	4	4	4
経営学部	経営学科	4	4	3
現代社会学部	現代社会学科	8	8	7
合計		25	25	23

※2023年度は、理工学部・薬学部・看護学部・農学部は募集していません。

アクティブラーニング型入試

学部・学科		志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)
現代社会学部	現代社会学科	46	45	42
合計		46	45	42

※2024年度入試より、総合型選抜(AO入試)に変更